

## 平成26年度奈良県・大和高田市公立学校教員採用候補者選考試験受験案内について（概要）

### [ 1 ] 選考試験日程

- ① 願書交付 平成25年5月10日(金)9:00～
- ② 願書受付
  - 郵送・インターネット 平成25年5月10日(金)～平成25年5月31日(金)
  - 提出先：奈良県教育委員会事務局教職員課
- ③ 第1次試験の期日・内容

		一般選考・身体に障害がある人を対象とした選考			社会人を対象とした特別選考	現職教諭特別選考	会場
		小学校 特別支援 養護教諭 栄養教諭 実習助手	中学校 高等学校 <b>(実技無)</b> 右記以外の教科	中学校・高等学校 <b>(実技有)</b> 中：音楽・美術・保健体育 高：美術・保健体育・書道			
7月 13日(土)	午前	一般教養 <マークシート>	一般教養十 教科専門（基礎） <マークシート+筆記>	一般教養 <マークシート>	個人面接	高田・西の京 ・郡山	
	午後			教科専門（基礎） <実技>			
20日(土)21日(日) 24日(木)25日(金)	全日	集団面接（対個人+集団討議） (※実習助手は集団面接を実施しません)				樺原(20, 21) 畠傍(24, 25)	

○ 受験票送付予定の **6月14日(金)11:00頃** に、**教職員課ホームページ**で、試験会場及び各校種、教科（科目）のおまかなか**集団面接日**等を掲載予定

○ 各受験者の具体的な集団面接の日時は、**7月17日(木)11:00頃**に**教職員課ホームページ**掲載予定

④ 第1次試験の結果 **8月7日(木)10:00頃**、奈良県庁正面掲示場に掲示、**11:00頃**教職員課ホームページ掲載、本人宛郵送

### ⑤ 第2次試験の期日・内容

	小学校	中学校	高等学校	特別支学校	養護教諭	栄養教諭	実習助手	会場
8月 16日(金)		実技試験 音楽・美術 保健体育	実技試験 美術・書道 保健体育					西の京
17日(土)	実技試験 (音楽・体育)							西の京
18日(日)		教科等専門の筆記試験						平城
19日(月)20日(火) 22日(木)23日(金)24日(土)		小論文・プレゼンテーションシート（自己アピール等）の作成・適性検査						平城(19, 20) 香芝(22, 23, 24)
		個人面接（模擬授業等を含む）						

○ 試験会場、実技試験の班編制及び個人面接の日時等、第2次試験に関わる内容は、**8月13日(火)11:00頃**に**教職員課ホームページ**掲載予定

⑥ 第2次試験の結果 **9月20日(金)10:00頃**、奈良県庁正面掲示場に掲示、**11:00頃**教職員課ホームページ掲載、本人宛郵送

### [ 2 ] 募集する校種、教科（科目）等及び採用予定者数

校種等	教科（科目）等			H26採用予定者数	H25採用予定者数
小学校				205人程度	235人
中学校	国語20人程度、社会20人程度、数学15人程度、理科10人程度、音楽6人程度、美術2人程度、保健体育25人程度、技術・家庭7人程度、外国語(英語)25人程度			130人程度	130人
高等学校	国語7人程度、地理歴史6人程度、数学7人程度、理科(物理、化学、生物)計7人程度、美術1人程度、保健体育10人程度、書道1人程度、外国語(英語)8人程度、農業2人程度、商業1人程度、工業(機械、電気、建築)計4人程度			54人程度	93人
	英語1人程度、商業1人程度			2人程度	2人
特別支援学校				38人程度	38人
養護教諭				16人程度	17人
栄養教諭				3人程度	3人
実習助手				2人程度	2人
合計				450人程度	520人

### [ 3 ] 主な変更点

#### ① 採用人数の推移 総数450人程度(-70)

小学校 205人程度(-30) 中学校 130人程度(±0) 県立高等学校 54人程度(-39)  
市立高等学校 2人程度(-2) 特別支援学校 38人程度(±0) 養護教諭 16人程度(-1)  
栄養教諭 3人程度(±0) 実習助手 2人程度(±0)

② 人物重視の選考 第2次試験の小論文の配点を引き下げ、小学校における面接点を引き上げた。

③ 現職教諭特別選考の見直し 1次試験：第1次試験免除→第1次試験で集団面接対個人+集団討議

④ 加点制度の充実

全校種で臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士資格の加点、養護教諭・特別支援学校で看護師、保健師資格の加点、高等学校で高等学校教諭普通免許状（情報）の加点、スポーツ特別加点の見込み廃止  
※（見込みは、小学校及び中学校教諭普通免許状共所有のみ）

⑤ 奈良県会場受験一本化 岡山会場受験を取りやめ、より奈良県受験者に対する門戸を開く。